

<会員業績紹介>

会 員 紹 介

(2016 年 1 月 1 日～2016 年 11 月 30 日)

小山 大介 (宮崎大学)

【著書】

「Chap.13 通商政策を考えるーグローバル化する貿易・投資と日米関係ー」岡田知弘・岩佐和幸編著『入門 現代日本の経済政策』法律文化社、2016 年 8 月 5 日、213-231 ページ。

【論文】

「日米中三カ国における付加価値貿易構造ーアジアの国際分業と日米中貿易の位置ー」『立命館国際地域研究』2016 年 3 月 31 日、137-157 ページ。

【調査研究・解説等】

「特集 建築業における国際化の論点整理 総論：日本企業のグローバル化を取り巻く状況 日系多国籍企業および建設業における海外進出と撤退の現状」『建築雑誌』Vol.131, No.1688、日本建築学会、2016 年 9 月 20 日、5-7 ページ。

【学会等発表】

「多国籍企業の海外事業活動の新展開ー1990 年代以降の企業内貿易分析を中心にー」政治経済学・経済史学会近畿部会例会、京都大学吉田キャンパス、2016 年 4 月 24 日。

関根 佳恵 (愛知学院大学)

【著書】

「第 3 章 多国籍アグリビジネスの事業展開と日本農業の変化ー新自由主義的制度改革とレジスタンスー」北原克宣・安藤光義編著『多国籍アグリビジネスと農業・食料支配』明石書店、2016 年、104-127 ページ。

「第 5 章 農業・食料政策を考えるー飽食ニッポンと家族農業のゆくえー」岡田知弘・岩佐和幸編著『入門 現代日本の経済政策』法律文化社、2016 年、79-94 ページ。

Kae SEKINE and Alessandro BONANNO. *The Contradictions of Neoliberalism in Agri-Food: Corporations, Resistance and Natural Disasters in Japan*. West Virginia University Press: WV. 2016.

【雑誌】

「書評：桂瑛一編著『青果物のマーケティング

ー農協と卸売業のための理論と戦略ー』昭和堂、2014 年」『農業市場研究』第 25 巻第 3 号、2016 年 12 月 (掲載予定)。

「国際マメ年を振り返ってー豆は世界の栄養を改善し、持続可能な農業の土台にー」『食べもの通信』550 号、2016 年 12 月、20-21 ページ。

「『国際マメ年』と農業の進路」『文化連情報』462 号、2016 年 9 月、36-39 ページ。

「現場からの農村学教室：家族農業とアグロエコロジー」『日本農業新聞』2016 年 6 月 5 日付。

「貿易自由化時代の地理的表示制度」『農業と経済』第 82 巻第 6 号、2016 年 6 月、86-87 ページ。

【学会報告】

「解題：田園回帰をめぐる論点」農業・農協問題研究所東海支部主催公開シンポジウム『農山村移住と農のある暮らしを考える』愛知学院大学名城公園キャンパス、2016 年 11 月 27 日。

Kae SEKINE and Alessandro BONANNO. "Geographical Indication and Resistance in Global Agri-Food: The Case of Miso in Japan." A paper presented in the IRSA 14th World Congress of Rural Sociology, Toronto, Canada at August 11th, 2016.

倪 卉 (立命館大学)

【著書】

『蚕糸と現代中国』、京都大学学術出版会、2016 年 3 月。

【論文】

倪卉・卓秋紅・屈達才、「农民桑蚕专业合作社与农村持续发展ー以广西桑蚕专业合作社、龙头企业和蚕茧大宗交易市场为例ー」《中国蚕业》第 37 卷第 2 期、2016 年 6 月、8-14 ページ。

「養蚕農民主導專業合作社の可能性ー中国広西チワン族自治区南寧市上林県 LX 桑蚕專業合作社の事例ー」『立命館経済学』第 64 巻第 4 号、2016 年 2 月、100-115 ページ。

森本 壮亮 (桃山学院大学)

【論文】

「利潤率の傾向的低下法則と日本経済ー置塩定理を中心にしてー」『経済経営論集』(桃山学院大学)、2016 年 3 月、237-269 ページ。